

第12回（3月号） ビジネス英語学習を継続させるコツ

企業の社員・英語研修担当の方々や学生から、どうしたら英語学習を継続できるかという質問をよく受けます。今年度最後のコラムは、継続学習のコツについて考えてみたいと思います。

目標を発信力アップに置く

企業の人事教育担当の方々が抱える課題は、社員の資格試験の点数は上がっても話せるようにならない、研修をお膳立てしても英語学習が続かない、の2点に集約されます。その原因のひとつに、目標を資格試験に置いていることが挙げられるのではないかと思います。資格試験自体が悪いわけではありません。それに向けて学習すれば英語力は向上するし、いい結果が出れば自信にもつながるでしょう。一方で、目標を達成して終わり、あるいは途中でくじけるといったケースが多いのも事実です。

では、どうしたらいいのか？ 私は、資格試験の代わりに「発信力アップ」を目標に置くことをお勧めしています。外国語は本来使ってみることに楽しさ・喜びを見いだすものであり、同時に仕事に求められるものだからです。

英語活用実態調査 2019（国際ビジネスコミュニケーション協会実施）をみても「英語を学ぶ際のモチベーション（複数回答可）」の問いに対して最も多い回答は「外国人と直接話ができると楽しい（48.3%）」。続いて「海外旅行・出張で困らないようになりたい（47.6%）」、「仕事上、必要（42.7%）」と続きます。「転職のチャンスが広がる（30.0%）」、「自分の人事評価が上がる（12.2%）」を大きく上回っているのです。

メール、ミーティング、雑談力が3本柱

ビジネス英語の発信力として重要な項目は、eメール、ミーティング、雑談力の3つです。プレゼンテーション力、交渉力はミーティングの延長線上と考えればいいでしょう。

まず、第一関門はeメール。相手とのやりとりが効率的・効果的に出来るかどうかは仕事力の基本です。次に来るのがミーティング。相手の意見を理解し、自分の意見を発信できるかは、仕事力のコアの部分です。そして、英語の

雑談力。相手と信頼関係を築けるか、相手から一目置かれるかどうかは、“仕事力+教養+人間力”が総合的に関わってきます。これらの点を意識しながら、英語力をどのように活かすかを考え、英語を身に付けた目標達成後の自分の姿を描いてみましょう。

4 技能のリンクを意識する

4 技能 (listening, reading, writing, speaking) は本来バラバラに学ぶべきものではありません。効果的な学習方法とはこの4つをリンクさせることです。

いいスピーチをするにはいい原稿がなければなりません。いい原稿を作るには語彙力・表現力が必要ですが、それは読書がベースになります。これを英語学習に置き換えてみると、外国人と中身の濃い話をするには writing 力をつける、それには reading 力が重要です。

例えば BBC ニュースを聞いて内容がよくわからなかった場合、listening 力不足と考えがちですが、もしそのスクリプトを読んで瞬時に理解できなければ、reading 力が不足していると考えべきです。読んですぐ理解できれば listening は慣れの問題くらいの気持ちで臨めばいいのです。

NHK の講座を有効活用しよう

「入門ビジネス英語」の講座は、ビジネスシーンを聞く⇒内容を文字で解説とともに確認⇒キーフレーズの使い方を覚え発声練習⇒シーン全体をシャドウイング⇒コミュニケーションスキルの習得、という構成になっています。writing についてもテキストの作文問題で復習が可能です。限られた時間の中で、1つの教材で4つの技能をリンクさせながら効率的・効果的に学んでいきます。その他の番組についても、一部を除いて概ねこの形式に則っていると思います。NHK の講座を活用しない手はありませんね。

使う機会を意図的に作る

楽器や歌をいくら頑張っても、誰かに聞いてもらう機会がなければ、だんだんやる気は薄れていくでしょう。英語も同じです。前述の英語活用実態調査で「英語力向上の課題（複数回答可）」との回答をみると「仕事で使

う機会がない（50.4%）」が最上位で「時間がない（26.0%）」を大幅に上回っています。

周りに外国人がいる場合は、勇気を出して使ってみましょう。外国人がいない場合でも、英語研修参加、オンライン英会話といった機会を捉えて力試しをしてみましょう。通じる喜びを感じることもあれば、うまくいかなくて落ち込むこともあるでしょう。いずれにせよ、一喜一憂しながらこうした練習試合の場数を踏むことが大切です。

「発信力アップ」を目指して継続していけば、資格試験の結果にも表れてきます。それが英語への興味や自信につながり、さらに発信力を高めようとする好循環が生まれていくのです。皆さんも、楽しみながら継続する自分なりの方法を考えてみてください。